

船舶事故等調査報告書

平成25年12月19日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013門第36号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成25年4月14日（日） 03時46分ごろ
発生場所	大分県臼杵市臼杵港 臼杵港防波堤灯台から真方位257° 405m付近 （概位 北緯33° 07.6′ 東経131° 48.7′）
事故等調査の経過	平成25年4月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客フェリー おれんじ九州 ^{きゅうしゅう} 、2,924トン 140525、瀬野汽船株式会社、九四オレンジフェリー株式会社 （船舶借入人）
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷船尾外板に擦過傷及び凹損 岸壁 亀裂、欠損及び可動橋シリンダー架台部のコンクリートが破損
事故等の経過	本船は、船長ほか10人が乗り組み、旅客4人を乗せ、車両1台を積載して臼杵港のフェリー専用岸壁に右舷及び船尾着けするために後進中、操舵室右舷側でジョイスティックにより、操船していた船長が、行きあしを止める操作が遅れ、平成25年4月14日03時46分ごろ船尾が同岸壁に衝突した。 船長は、旅客に負傷者がいないこと、及び船体の損傷が軽度であることを確認し、航行に支障がないと判断して通常の運航を続けた。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期
その他の事項	本船は、プロペラ軸が2軸であり、プロペラは可変ピッチであった。 本船は、ジョイスティックを前後又は左右に傾けることにより、両舷可変ピッチプロペラの翼角変更による前後進又はスラスタによる横移動を行うことができた。 船長は、ふだん、着岸時に後進を始めたらず、すぐに中立に戻っていたが、本事故当時は、ジョイスティックの操作が不十分で中立位置になっておらず、後進が続いていたかもしれなかったと思った。 操舵室の両側は、舷側よりも約1.2m海上に張り出しており、右舷側全面の視界は良かった。

<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、臼杵港のフェリー専用岸壁に右舷及び船尾着けの着岸作業中、後進行きあしを止める時機が適切でなかったことから、同岸壁に衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が、臼杵港のフェリー専用岸壁に右舷及び船尾着けの着岸作業中、後進行きあしを止める時機が適切でなかったため、同岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 着岸間近での操船は、適切に行うとともに、ジョイスティックは確実な位置に止めること。